



里だより

No.404

令和7年9月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



九月号もくじ	
施設長より	1
サビ管より	2
主任より	3
職員より・医務より	4
サービス向上委員会より	5
行事報告	5
研修報告	6
行事予定	7
ありがとうございました	7
編集後記	7

つくしの里 ホームページ <https://tsukushinosato.or.jp>



施設長より



八月半ば、九州地方で発生した線状降水帯により被害を受けられた皆様、心よりお見舞い申し上げます。

今年は早い梅雨明けかと思いきや、まさかの豪雨。玉名市では六時間の雨量が平年の八月の二倍以上だったとか。これまでの常識を覆すような気候変動への対処も必要になってくるのでしょうか。つくしの里では河川氾濫の危険度が増したため、避難場所として一部活動スペースを開放し、地域の方の受け入れを行いました。今後も非常時には同様の対応を図りたいと思います。

さて、六月に外部講師をお招きして虐待防止研修を実施しました。今回は、制度的な内容ではなく、福祉人の基礎中の基礎ともいえる「福祉施設職員としての心構え」と題して講和いただきました。限りある時間の中で、豊富な知識・資料から伝えたいもの、伝えなければならぬものを選びお話しされることは大変なことだろうと思いつつも、受ける私ももっと聞きたい、もっと知りたい、もっと時間があればという思いに駆られました。今回の企画はサビ管が担当してくれて、私は受講する側でしたが、企画側と受講側には大きな経験値の差が生まれます。

企画する側は、何の意図・目的があつて研修をするのか。また効果はどのようなものを狙いとしているのか。内容はどのようなか。時間は？講師は？日程は？費用は？場所は？準備物は・・・等々が出てきます。列挙するのは簡単ですが、実際に調整するのは骨を折ります。最終的には、主旨・目的は達成と効果につながったかが、自らの評価となります。受講側も、この主旨・目的をきちんと押さえておくと、より一層学びを深められるものと思います。

ます。当然、研修にただ参加するだけの人との差は大きなものになります。研修を受ける姿勢も今回の演題に通ずるものがありました。

以前、外部研修に出た際に、いろいろな方が参加されていました。目的を持って参加している方もいれば、メモや筆記用具も持たれていない方々様々。中には、なぜこのような研修に参加しなければいけないのかと不満を口にされる方と出くわしたこともあります。現場でこの人の穴を埋めている支援者もいるのではと思ったりしました。

今回の研修は、基本・応用・独創性の三部で構成され、どの経験年数のスタッフにもわかりやすくなっていました。研修の冒頭で、基本はあいさつ。当たり前のことを当たり前にやることが利用者の権利や人の尊厳につながる。また、終盤には、誰もが幸せになる四つの因子で締められました。「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」因子を伸ばすと良いようです。研修中のどの言葉も虐待防止に通ずる大切なものでした。

単発の研修ですが、受け取ったものは、これからの支援に生かさねば意味がありません。やはり、根本的には自らの姿勢と在り方。下期も利用者さんの安心できる生活を見つめていきたいと思っています。

ご縁のある施設にも声をかけ、ご参加いただきました。一か月以上経って、菊池郡市の福祉施設イベントで、研修に参加された施設の職員さんが、研修のお礼に来られました。「基本はあいさつ」が個人の評価もその施設の評価も上げると感じました。

施設長 松永 一博

サビ管より



ここ数年、テレビCMで「転職」という言葉をよく耳にします。CMが転職を推奨しているように感じ、少し嫌な気持ちがありました。新卒獲得にも力を入れようとしている中で、どうしてもマイナスイメージを持ってしまいます。

何となく転職という言葉に悶々とする中、高卒求人が解禁となった七月、介護福祉科を設置している高校や福祉系の事業所への就職実績のある高校に加え、大学や短大、専門学校を含め、合計十八校へ求人案内と実習受け入れ案内について、訪問し説明させていただく機会がありました。

訪問させていただいた高校の先生から、現代では「まず、石の上にも三か月」と生徒には話している、とも聞きました。高卒で職に就く学生に限らず、大学や短大卒の学生の早期離職、転職も増加傾向にあります。当施設も、就職後のミスマッチを少しでも防ごうと、就職フェアで興味を持っていただいた方には、まずは施設見学や体験の案内を差し上げています。しかし、就職フェア等で、当施設のブースへ着席していただき、職員から説明を行った方の中でも、見学や体験につながるケースは多くはありません。これだけ転職という言葉が出回っている時代にあつて、人の確保には大変苦慮しているところです。

当施設は、人材確保推進委員を若手の職員が担い、時代に合わせた、また求人の流れに沿って年間計画で動いています。求人広告、インスタグラムの更新に加え、ブース着席者へのお土産は、利用者さんの作品をアレンジした葉を作成するなど、委員だけではなく、利用者さんの協力も得て、施設全体で求人活動に取り組んでいます。

話は戻り、求人や実習案内で学校を回る中、何年も前に卒業した職員のことを気にかけて、学生時代の話や、うれしいお言葉をいただくこともありました。卒業生がいる職場に、学校側も学生さんを送り込みたいと、学生さんへ直接お話できる説明会の案内もいただきました。

現金を扱う機会が減り、キャッシュレス化が進んでいます。並行して、切手を扱う文書・郵送でのやりとりも減り、メールでの文書やデータ送付が増えつつあります。しかし、今回学校等を回る中で、三十分から一時間程度のわずかな時間ではありましたが、顔を合わせてお話させていただいた時間は、とても貴重な時間となりました。

最後に、実習については、各学校の先生がおっしゃるよう、実習受け入れが求人への一番の近道であるとを、ここ数年実感しています。中学生の職場体験、高校介護福祉科の実習、大学のソーシャルワーク実習、保育士過程の施設実習など、機会は多くあります。しかし、学生や学校の希望と当施設の状況（交通の便・立地等）がマッチせず、また認知度もまだまだであり、実習件数は多くありません。何事も、人とご縁を大切にしながら「顔の見える関係性」を広げ、当施設はもとより、福祉に携わる人材の確保、育成に努めたいと思います。

支援係長 長瀬 さくら



主任より

一からの学びなおし



私の母校（福祉系の専門学校）は、卒業と同時に介護福祉士の国家資格が取得できる学校でした。新卒で就職した当時は、利用者の方も四十から五十代の方が多く、しっかり歩いて、作業もして、介助や介護が必要な方は少ない状況でした。そのため、介護福祉士の必要性も殆ど感じることなく過ごしていたように思います。

それから二十年以上が経過した現在、六十代以上の方が多くなくなり、高齢化が進んでいます。利用者の方の体力の衰えや状態の変化は急にやってくるように感じます。もしかしたら、利用者さんは自分の中で異変を感じていても、表現できないだけなのかもしれません・・・。

高齢者が増え、介助や介護を必要とされる利用者さんを支援するうえで、現在の設備は合っていないと思うことがあります。でも、利用者の方にとっては、それが日常で過ごされてきました。利用者さんは、老いを年齢で感じる人は少ないようで、自分の体力の低下等に気づかず、自分のことは自分でやろうとする方もおられます。見方を変えれば、その人らしさや年齢を気にしない生き方ができているのかもしれませんが、その反面、転倒等、事故のリスクが上がります。

利用者さんの状態変化が早く、支援する側がついていけないと実感します。介護福祉士を取得したとはいえ、介護技術を書籍や動画で新たに学んで実践しても、本当にこの方に合っている

のだろうかと思うことがあります。後輩を育成するにしても、明確に対応することができず情けないばかりです。

そうした状況を改善するため、施設の自主研修のバックアップを受けて、介護福祉士のスキルアップの研修に参加することになりました。月二、三回の研修を一年以上かけて受講します。

先日は、全人性と尊厳、倫理などを学んできました。介護福祉士として求められる姿を知るとはとても尊く、新たに学ぶことは本当に必要なことだと改めて感じさせられています。

研修での学びを、少しでも利用者支援や職員のスキル向上につなげることができればと思います。

主任支援員 池田 亜紀

施設 PR 委員会 今月の1枚！

午後の一服は、
コーヒーの香り♪



職員より



7月10日。利用者支援中に右足中骨を骨折してしまい、1か月ギブス生活を送っていました。当然、利用者支援は行えず、しばらく何も出来ない時期を過ごすことになりました。私が原因で、急遽、勤務を変ってもらった同僚達、利用者の皆様にも心配され、多大なご迷惑をお掛けしています。右足の骨折の為、自動車も運転できません。出勤は妻にお願いすることになり、妻も大変だったと思います。

人間追いつめられると本性が出るもので、仕事が思う様に出来ないストレスを家庭や職場でも出してしまったと思います。「特に悪い事していないのに、なぜ私が骨折する事になったんだ…」とやさぐれた事もありました。まだ完治せず、仕事も制限されています。健康でいることは、とても幸せなのだと実感しました。骨折は、もうこりごりです(笑)。これからは怪我に気を付けていきます。(支援員 尾崎か)

4月に入職し、もう5ヶ月が経とうとしています。周りの先輩職員に支えられながら、沢山学び、沢山吸収し、業務を覚えています。そして、利用者さんが自分に話しかけて下さる事や声掛けに応じてくださるので、少しずつではありますが、関係性を築く事が出来ていると感じます。

私事ではありますが、何をする上でも大事にしている言葉があります。それは「凡事徹底」という言葉です。その意味は、簡単に言うと当たり前のことは当たり前にするという意味です。「そんなの出来て当たり前じゃん」と思うかもしれませんが、結構難しいのです。仕事に慣れてくると曖昧にしまったりと誰しもそうなったことがあると思います。当たり前のことを当たり前にできて初めて利用者さんにも良い支援ができると思います。この言葉を大切に、今後も日々精進してまいります。(支援員 日高)



医務より

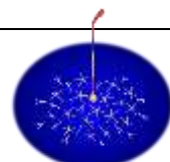


8月の面談の際に4月に受けた健康診断の結果をお渡ししています。結果について何か不明な点などありましたら、いつでもご連絡ください。また、面談が早めに終わられた方については、今月の里だよりに同封しますので、ご確認ください。要精密検査の指示があった方については受診をしています。

連日、猛暑が続いています。体温を超える気温の日も多く、命の危険に関わる暑さに外出するのも気が引けます。今月は熱中症をテーマに保健講話(健康講話)をしていただきました。講話の中で熱中症の症状や対応法、予防のため3食必ず食べる、大量に汗をかいたら水分だけでなく塩分も補給することなど、この時季心がけておきたい内容でした。

暑さのピークも過ぎ、暑い中にも少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。この秋も利用者さんが楽しみにされているイベントがたくさんあります。全員で参加できるよう体調管理に気を配っていきます。(看護師 松村)

サービス向上委員会より



■ イベント【主任支援員 山中・支援員 牛島・野口】

上期は「スイカ割り会」や「かき氷会」を行いました。また、毎月のドーナツ販売は利用者さんの楽しみとなっています。

普段できない事やなかなか食べられないもの等を提案し、利用者の皆さんの季節毎の楽しみになればと思います。今後は、「花火大会」や「アイス会」を予定しています。

日々の生活の中での楽しみや生きがいにつながるように情報を集めて、色々なイベントを行えるように考えていきます。

行事報告 ※ 7/21（月）～8/20（水）の行事について報告いたします

★ 開園記念祭【8月1日（金）つくしの里】

開園から34周年を迎え、記念の行事を無事に行うことができました。

当日は、利用者さんによる開会宣言から始まり、施設のこれまでの歩みを皆で振り返りました。懐かしい写真やエピソードに笑顔がこぼれるひとときとなりました。

続いて、昨年度もご出演いただいた大道芸人のマルテドン様を再びお招きし、迫力あるパフォーマンスショーを披露していただきました。会場は大盛り上がりで、笑顔と拍手に包まれ、利用者さんを始め、職員一同も楽しい時間を共有することができました。

昼食には豪華なお弁当を皆でいただき、午後からはキッチンカー「にんぐるカフェ」様にご協力いただきました。冷たいアイスやドリンク、クレープなどが提供され、利用者さんが嬉しそうに味わっている姿がとても印象的でした。

これからも、利用者さん一人ひとりが安心して楽しく過ごせる施設づくりを目指し、職員一同努めてまいります。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

（支援員 松尾り）



★ かき氷会【8月14日（木）つくしの里】

屋台に見立てたテントで、かき氷を作りました。利用者さん達には、好きな味のシロップ、フルーツや練乳、バニラアイス等のトッピングを選んでもらい、自分だけのオリジナルかき氷を楽しんでいただきました。中には、シロップを3種類選ばれる方もいました。何味になったのでしょうか…。

来年は、トッピングの種類を更に追加し、今年以上に盛り上がるようなかき氷会を実施したいと思います。

（支援員 野口）



研修報告

※ 7/21（月）～8/20（水）の研修について報告いたします

◆熊本県知的障がい者施設協会 人権研修会【7月24日（木）嘉島町民公民館】

今回は「支援者の支援」という事で、「価値・倫理」がテーマでした。「価値・倫理」をチームの中で共有し、実施し、具現化する事が必要だと感じました。

人手不足と言われる昨今、人と人とのコミュニケーションが重要になってきます。新人職員のメンタルケアではありませんが、話をして、仕事をする活力を見出す事が今まで以上に必要だと感じました。

支援者としての責任や支援者同士の存在意義、利用者に対して支援者主体の支援になっていないか（潜在的な見下しになっていないか・傲慢な態度をとっていないか）等を改めて見つめ直す機会となりました。

また、講義の中で話があった、リフレイミング・言語化・外在化を大切にし、「支援者の元気が利用者を元気にする」を常に考えながら、今後の支援に活かしていきたいと思います。（支援員 井）

◆九州地区地域生活者交流会熊本大会【7月26日（土）ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ】

つくしの里を代表して利用者のMさん、Yさんと3名で出席させていただきました。九州県内の事業所が一堂に集まる交流会で、とても賑やかで心温まる会でした。

利用者さんによる作文発表があり、各県を代表して7名の方々が日常生活において頑張っていること、夢、今後の目標等を発表し、出席者の方々と意見交換を行いました。出席した2名の利用者さんもしっかり話を聞き、「自分と同じ境遇だった」「自分も信頼される人になりたい」と色々感じ、考えることが出来た時間だったようです。夜の部では、ディナーをしつつ、ステージショーや他事業所の利用者さんと名刺交換を行いました。参加した2名の利用者さんも事前にオリジナルの名刺を作成し、名刺を渡す練習も行いました。当日は少し緊張していると言いつつも、笑顔でスムーズに名刺交換が出来ていました。

私自身、他事業所の利用者さんや職員と話す機会が少ないので、今回交流会に参加でき、良い経験が出来たと思います。日頃つくしの里の出来事しか見ていないため、私の知らない場所が沢山あり自分の知識不足にも気づくことが出来ました。今回感じたことを忘れず、今後、支援や勉強を行えたらと思います。（支援員 田中）

◆第1回職場研修担当者研修会【8月5日（火）～7日（木）神奈川県 中央福祉学院（ロフォス湘南）】

適切な知識、技術を身に着けることを目的として研修を行っていますが、研修の計画からその進め方、終わったあとの評価など、曖昧な取り組みであれば何ら効果はなく無駄な時間となってしまいます。研修を実施していくことは必須であり、学びが無ければ個人のスキルは勿論のこと、事業所のサービスの向上にも結び付きません。また、人材定着の観点でも重要な役割を持っていると思います。

社会人として学ぶことの意義を、「学ぶ」「気づく」「描く」「変わる」と表現されます。新しい経験や知識を得る。強化、改善点に気づく。目標や行動指針を描く。行動変容と実践。これをしっかり抑えていくことが、育成だと考えます。また、個人的には職務を通じて遂行するOJTが特に重要だと感じます。あらゆる場面が育成の機会であることを意識しながら日常の業務を進めること、定期的に意図的・計画的指導を挟んでいくこと、これらを継続することが非常に大事だと考えます。私自身、この学びを実践していきたいです。

（支援課長 今田）

行事予定

9月



☆ 生活介護⑤班一泊旅行 B (福岡県福岡市)

期 日：9月2日(火)～3日(水)

内 容：みずほPayPayドームへ野球観戦に出掛けます。



☆生活介護①班外出 (熊本市弓削)

期 日：9月11日(木)

内 容：アンジュールハウスへ行き、楽しみながら食事をしたいと思います。

☆ 敬老会 (つくしの里)

期 日：9月12日(金)

内 容：節目の年を迎える傘寿1名、喜寿1名、還暦1名の利用者さんのお祝いをし、健康と長寿を皆で願いたいと思います。



☆生活介護②班外出 (熊本市植木町)

期 日：9月16日(火)

内 容：今年の夏の締めくくりにバーベキューを行いたいと思います。



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和七年七月二十一日～

令和七年八月二十日です



【寄付・寄贈】

・ 鮑田 一夫 様	・ 岩根 治美 様
・ 緒方 寿隆 様	・ 清田 すま子 様
・ 坂本 励帆 様	・ 下田 くに子 様
・ 高宗 信雄 様	・ 田上 修二 様
・ 長渕 さくら 様	・ 藤田 孝志 様
・ 藤本 美紀 様	・ 古庄 澄代 様
・ 松浦 光毅 様	・ 山口 さゆり 様
・ 三上 貴宏 様	・ 柳瀬 けさみ 様
・ 山口 静美 様	・ 渡辺 今朝次 様
・ 日清医療食品(株) 様	
・ まんしん未来 様	

【ボランティア】

・ 村里 和洋 様

・ 丸山 典子 様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。



編集後記

八月の記録的な大雨で、熊本県では予期せぬ被害に多く見舞われました。いっどこで災害に遭遇するか分からない。日頃から防災への意識と備えは必要だと感じました。

九月一日は、「防災の日」です。もしもの災害の時に善処できるように、備蓄品や避難場所の確認を行いたいと思います。



※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきます。